発信人 日本国特許庁(国際予備審査機関)

出願人代理人		WRITTER	N OPINION	(受付)		
河宮治	殿			76.3.17		
〒 540−0001			PCT見解書			
大阪府大阪市中央区城見1丁目3番7号 IMPビル 青山特許事務所	1		(法第13条) · [PCT規則66]			
		発送日 (日.月.年)	6. 3. 2004	-		
出願人又は代理人 の書類記号 663959		応答期間	上記発送日から 2	月 /日 以内		
国際出願番号 PCT/JP03/09529 国際出 (日.月.		07.03	優先日 (日.月.年) 29.	07.02		
国際特許分類(IPC) Int. Cl ⁷ A 6	61K9/00,	35/78, 47	/36			
出願人 (氏名又は名称) 帝國漢方製薬株式会社						
1. これは、この国際予備審査機関が作成し 2. この見解書は、次の内容を含む。	た <u>1</u> 回	目の見解書である。				
I x 見解の基礎 II 優先権						
Ⅲ L 新規性、進歩性又は産業上の系 IV 発明の単一性の欠如	引用可能性につい	いての見解の不作成	Ž			
V x 法第13条(PCT規則66.2(a)(ii)) に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解 、それを裏付けるための文献及び説明						
VI			•			
VII 国際出願に対する意見						
3. 出願人は、この見解書に応答することがいつ? 上記応答期間を参照すること、 66.2(d))に規定するとおり、 ただし、期間延長が認められ ことに注意されたい。	。この応答期間 その期間の経過	前に国際予備審査	幾関に期間延長を請求す	⁻ ることができる。		
どのように? 法第13条(PCT規則66.3 様式及び言語については、法						
なお 補正書を提出する追加の機会 補正書及び/又は答弁書の審 の非公式の連絡については、	については、法 査官による考慮 PCT規則66.6	施行規則第61条(については、PC) を参照すること。	の 2 (PCT規則66.4)を	を懸すること。		
応答がないときは、国際予備審査報告は、こ	20/11/21					
4. 国際予備審査報告作成の最終期限は、P	CT規則69.2の	規定により	29.11.04	である。		

名称及びあて先

日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官(権限のある職員)

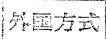
4P 9363

油科 壮一

電話番号 03-3581-1101 内線 6616

様式PCT/IPEA/408 (表紙) (1998年7月)

(添付用紙の注意書きを参照)





国際出願番号 PCT/JP03/09529

					 1 		
Ι.	<u></u>	見解の基礎 					
1.	1. この見解書は下記の出願書類に基づいて作成された。 (法第6条 (PCT14条) の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この見解書において「出願時」とする。)						
	x	出願時の国際	祭出願書類			,	
	\Box	明細書	第	ページ、	出願時に提出されたもの		
	_	明細書	第	ーページ、	国際予備審査の請求書と共	に提出されたもの	
		明細書	第	_ ページ、		の書簡と共に提出されたもの	
		at to a second	***				
	\Box	請求の範囲 請求の範囲	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	項、 	出願時に提出されたもの	***	
		請求の範囲	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	— ^{項、} 項、	PCT19条の規定に基づ 国際予備審査の請求書と共		
		請求の範囲		— ^{·文、} · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		の書簡と共に提出されたもの	
				^`		-> BINC > (CIEBLE CAVIC 6V)	
		図面	第	ページ/図、			
		図面	第	ページ/図、			
		図面	第	 ページ/図、 	付	の書簡と共に提出されたもの	
	П	明細書の配列	刊表の部分 第	ページ、	出願時に提出されたもの		
	-		刊表の部分 第	 ページ、	国際予備審査の請求書と共	に提出されたもの	
		明細書の配列	刊表の部分 第	 ページ、		の書簡と共に提出されたもの	
2.		上記の出願書業	頁の言語は、下記に示す場合:	を除くほか こ	の国際出願の言語である。		
	-	に記の書類は、	下記の言語である	語であ	వం		
	[国際調査	のために提出されたPCT規	L則23.1(b)にい	う翻訳文の言語	·	
	Ī	=	則48.3(b)にいう国際公開の		- AMIN		
	ĺ	_	審査のために提出されたPC		け55 3にいう知訳文の言語		
	·		man services (e.g. c. to real c.	1 7/12/100. 2 2 70			
3.	3	この国際出願に	は、ヌクレオチド又はアミノ	酸配列を含んで:	おり、次の配列表に基づき見	解書を作成した。	
	[この国際	出願に含まれる書面による配	已列表			
	□ この国際出願と共に提出された磁気ディスクによる配列表						
	[出願後に	、この国際予備審査(または	は調査)機関に摂	出された書面による配列表		
	[_	、この国際予備審査(または			5配列表	
	Ī	_	提出した書面による配列表が				
	L		があった			この手段と日本ない日の保証	
		書面によ があった	る配列表に記載した配列と破。	t気ディスクによ	る配列表に記録した配列が	司一である旨の陳述書の提出	
			•				
4.	<u>~</u> *		F記の書類が削除された。 一				
	\exists	明細書	第	~~シ			
		請求の範囲	第	項			
	Ш	図面	図面の第	~-	ジ/図		
5.	П	この見解書に	ま 補充欄に示したように に	補正が出願時に	おける関示の銃囲を越ってさ	わたものと認められるので	
5. L この見解書は、補充欄に示したように、補正が出願時における開示の範囲を越えてされたものと認められるので、 その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))							
			•				



国際出願番号 PCT/JP03/09529

V.	新規性、進歩性又は産業上の利用可 る文献及び説明	能性についての法第13条 	(PCT規則66.2(a)(i	i)に定める見解、それを裏付
1.	見解			
	新規性(N)	請求の範囲 請求の範囲	1, 2	
	進歩性(IS)	請求の範囲 請求の範囲	1, 2	
	産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 請求の範囲 	1, 2	
2				

文献1: US 6277395 B1

(RYUKAKUSAN Co. Ltd.) 2001. 08. 21

文献2:JP 2001-114696 A

(太田製薬株式会社) 2001.04.24

請求の範囲1,2に係る発明は、国際調査報告で引用された文献1のTest Example 3に記載されているので、新規性、進歩性を有しない。

請求の範囲1,2に係る発明は、国際調査報告で引用された文献2の比較例1-3, 5に記載されているので、新規性、進歩性を有しない。



見解書			国際出願番号 PCT/JPO3/09529				
VI. ある	種の引用文献						
1. ある	。種の公表された文書(PC´	T規則70.	10)				
	出願番号 特許番号		公知日 (日.月.年)		顧日 月.年)	優先日	(有効な優先権の主張) _(日.月.年)
JР	2002-249437 A	·	06. 09. 2002	22. 0	2. 2001		
2. 書面		———— C T 規則7	0. 9)				
	面による開示以外の開示の種類 書面による開示以外の開示 (日.月.年)			の日付 書面による開示以外の開示に言及して 書面の日付(日.月.年)			